

## 大野市議会議員 林よりかず活動報告

※**新型コロナウイルス感染症**が世界中で猛威をふるっています。  
集団感染を防ぐため、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、  
「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」を避けるとともに、手洗いの  
実施、咳(せき)エチケットの徹底など、自己の体調管理をお願いします。  
⇒大野市ホームページでは「**関連情報**」を随時更新、発信しています。

正しい情報を得て、冷静  
な行動をお願いします。



昨年、民間資格の防災士を取得。自らできる  
対策(自助)として、各家庭の就寝場所な  
どにおける耐震強化をお願いしています。



中部縦貫自動車道県内全線開通後の荒  
島岳周辺の魅力づくりにと、1000本の桜  
を植樹した「カドハラ桜坂」。荒島愛山会の  
活動に参加しています。



公務員や政治家に興味を持つ有終南小学  
校6年生に、これまでの経験や大野を良く  
したいとの思いをお伝えしました。

### 林 よりかず活動記録

(令和2年1月～令和2年3月)

#### 1月

- 8～9日 会派研修(栃木県、千葉県)
- 10日 議員研修(東京都)
- 12日 大野市成人式(文化会館)
- 14日 議員研修(福井市)
- 23日 福井県市議会議長会研修  
(坂井市)
- 27日 議員全員協議会  
大野市議会高校生議会
- 28日 議員研修(敦賀市)  
《こころのよりどころ通信第2号発行》

#### 2月

- 10日 第3回大野市人口減少対策会議
- 14日 議員研修(福井市)
- 25日、26日 議員全員協議会
- 28日 有終南小学校総合学習講師

#### 3月

- 2日 会派名、構成変更(新風会・公明)
- 2日 本会議(第417回定例会)  
・産経建設常任委員会所属  
・人口減少対策特別委員会所属
- 9～11日 本会議
- 11日 議員全員協議会  
林よりかず一般質問
- 12～13日 産経建設常任委員会
- 18日 人口減少対策特別委員会
- 24日 本会議、議員全員協議会
- 26日 大野・勝山地区  
広域行政事務組合議会(定例会)

※上記以外に会派会議を原則、毎週開催。会派代  
表者会議、議会運営委員会などに出席しているほ  
か、各種会合、地域活動に参加しています。  
※議会報告会は皆さんの集まる場にお邪魔して実  
施していますので、お声がけください。

令和2年度がスタートしました。  
誇れるまち・大野のために、自らが学び、より良い大野市として将来へ  
つないでいく。人と人のつながり、地域と地域のつながりを大切にして  
いく。行政運営に対するチェックと政策提言を行いながら、ともに動く  
政治家を目指して、日々活動しています。よろしくお願いいたします。

令和2年1月の「こころのよりどころ」通信第2号発行以降、大野市議  
会常任委員会の委員構成や会派名称・構成の変更を経て、「令和2年3月  
第417回大野市議会定例会」「令和2年3月大野・勝山地区広域行政事務  
組合議会定例会」が開かれ、ともに令和2年度当初予算など重要議案の  
審査を行いながら、活発な議論を行いました。

この「こころのよりどころ通信」を通して、なるべく分かりやすく伝え  
ていきます。ぜひ、ご一読いただき、ご感想などいただければ幸いです。

(発行は不定期です。過去に発行した第1号、第2号の「こころのより  
どころ」通信をご希望の方はご連絡ください。)



林 順和

Hayashi Yorikazu  
昭和52年(1977)生まれ  
中央大学卒、元市職員  
現在 | 期目

- 会派 新風会・公明 ※名称変わりました。6人で構成しています
- ・議会運営委員会
- ・産経建設常任委員会 副委員長 ※所属変わりました
- ・人口減少対策特別委員会 副委員長
- ・大野・勝山地区広域行政事務組合議会 副議長

### 「誇れるまち・大野」のために

- ① 人の育成に力を注ぎます
- ② 時代の変化への対応に力を注ぎます
- ③ 産業振興に力を注ぎます
- ④ 財政健全化に力を注ぎます



大野の魅力、発信中! <https://ameblo.jp/hysyrkz/>  
【連絡先】0779-65-0276 yori.tonchaan@gmail.com



# 一般質問と回答

本会議の様子(動画)や議事録は大野市ホームページ「大野市議会」のページでご確認できます。



→QRコード読み取り

## ◎放課後児童クラブ

現在、南部、北部、西部、東部、和泉の各児童センター(※)において、放課後の児童の居場所づくりとして実施。下校時間から午後6時までだが、土曜日と長期休業期間中は午前8時から午後6時まで開設している。なお、放課後児童クラブの定員は各40人だが、延べ利用者数は増加している。 ※児童センターは厚生労働省の所管で、授業終了後の児童が自宅に帰宅した後、自由に来館することを目的に設置されている。

## ◎放課後子ども教室

文部科学省が放課後の児童の居場所づくりの一環として、学校の空き教室等を活用して設置できるよう制度設計したもの。現在、乾側、小山、上庄、富田、阪谷の5小学校で実施。学校の長期休業期間等を除いた平日の下校時刻から午後6時まで開設している。

# 子どもの居場所づくりに、福祉部門と教育委員会で協議

放課後児童クラブ、放課後子ども教室、夏休み

**問** 放課後児童クラブと放課後子ども教室の違いは。

**答** 児童クラブは、日中、保護者が家庭にいない児童を、子ども教室は全児童を対象としている。子ども教室は祖父母、両親の就労等は関係なく受け入れているが、児童クラブでは近隣に面倒を見てくれる祖父母等がいる場合、自由来館での利用をお願いしている。今後、放課後や長期休業期間中の居場所づくりについて、教育委員会とも協議していく。

**問** 登録に対して面談などは実施しているのか。

**答** 児童クラブは面談を実施、子ども教室は上庄地区のみ面談を実施している。

**問** 基準の違いがあり、「小一の壁」が大きいと思うが、子育て世代である市長の認識は。

**答** 小学校に上がり制度が変わることで、自分も面食らった経験があり、入学前の心構えを伝える努力が必要だと思っている。

# 保護者に直接周知していく

大野ですくすく子育て応援パッケージ

**問** 新たに打ち出した「大野ですくすく子育て応援パッケージ」の子育て現場への普及、浸透は。

**答** 新たに作成するパンフレットの設置や保護者に直接伝わるような周知を行っていく。

本会議に上程された議案・陳情等の対応状況をお知らせします。

# 議会の対応状況

## ・御清水エリアの下水道について

(議案第1号 令和2年度大野市一般会計予算案)

(議案第9号 令和2年度大野市下水道事業会計予算案)

(陳情1号 「泉町地区の公共下水道整備工事にかかる詳細設計策定を急がないことを求める陳情」)

(陳情2号 御清水エリアの湧水汚染の風評被害の防止に関する陳情)

※その他、「継続審査」となっていた陳情が2件

名水百選「御清水」に代表される大野市の宝、湧水を後世に受け継いでいく上で、御清水エリアの下水道整備に多くの陳情が出されていました。公共下水道整備による下水管敷設工事に対する不安、地下水脈への影響を懸念する声があり、計画見直しを求めるものや詳細設計業務を急がないよう求めるものなどです。

今回の本会議において、議案第1号、議案第9号は賛成多数で可決(賛成14、反対3)、陳情1号は賛成多数で採択(賛成13、反対4)、陳情2号は賛成多数で趣旨採択(賛成12、反対5)となったほか、継続審査となっていた陳情2件はともに、賛成少数で不採択となりました。

地元での合意形成と一日も早い汚水処理が進むように働きかけを行っていきます。

「人口減少対策特別委員会」における議論の方向性

# 小学生の子を持つ保護者への支援 夏休みの過ごし方など議論

働きながら子育てをする世代が住みやすいまちづくりに向けて、人口減少対策特別委員会では、令和2年は「小学生の子を持つ保護者への支援」について議論・提案しています。

**○放課後の居場所づくり**; 小学1,2年生の利用割合が高いことを認識しており、今後の推移を把握し対応したい。

⇒同じ学校であっても、学年により子ども教室と児童クラブが両方ミックスされた運用ができるのではないかと議論。

**○夏休み期間中の取り組みと募集方法**; 夏休み期間中、小学生に宿題支援や体験教室、中学生に公民館での学習場所の開放など、新たな取り組みを計画している。

⇒取り組み内容を一元化し、保護者向けにまとめて発信することで、本市が力を入れて取り組んでいるPRにもなり、家庭でどれに申し込むか、話し合うことができるのではないかと議論。

**○スポーツを取り巻く環境**; 少子化の進行によりスポーツ少年団や部活動が継続できない状況を認識しており、令和2年度から3年度にかけてスポーツ推進計画を策定する中で検討していく。

⇒これまで取り組んできた競技種目を、部活動で継続できないことに不安を感じており、進路を決定する際に悩んでいることから、指導者、保護者の声をしっかり吸い上げるべきと議論。

# ご理解・ご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、市内飲食店ではテイクアウト販売による営業が続いています。こんな時だからこそ、地元の味を知って、地産地消を進めましょう。

「#大野がんばるグルメ」で、お店やメニューなどを検索してみてください。

冒頭でお知らせしましたが、大野市議会常任委員会の委員の任期は一年であり、今議会から委員構成が変わりました。令和2年は「産経建設常任委員会」に所属。蔵生区で整備が進む道の駅「越前おおの荒島の郷(さと)」の利活用や農林業、観光や商工業の振興、建設や都市計画、公共交通のあり方など幅広い分野を担当し、大野市の発展に力を注いでいきます。新型コロナウイルス感染症拡大防止として外出自粛や渡航制限などが世界中で行われて、人の流れが大きく変わりました。世界全体の終息宣言はいつになるのか、早く収まってほしいです。こんな時だからこそ、地産地消を意識して、市内での消費活動を活発にしていきたいです。

## 編集後記

※そのほか、妊産婦の救急車利用に関する事前登録制度や調理の自校方式を継続している小中学校の給食提供の実施、児童デイサービスセンター開設など特長ある取り組みを行っています。パンフレットや大野市ホームページ、各施設でも周知していますので、良い制度はどんどん広めていきましょう。